



国民の森林・国有林

宮城北部流域国有林の森林計画に関する住民懇談会



林 野 庁 東 北 森 林 管 理 局
宮 城 北 部 森 林 管 理 署



● 説明の内容

目 次

- 1 計画区の主な取組状況について
- 2 次期計画の基本的方針について



1 計画区の主な取組状況について

(1) 公益重視の管理経営の一層の推進

○ 治山事業の実施

安全・安心な暮らしを確保するため、山地災害が発生した国有林野及び都道府県から要請のあった民有林野において、更なる被害発生を防ぐための復旧対策工事を実施しました。

また、岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災で被災した森林の復旧に向けた取組を進めています。



岩手・宮城内陸地震で被災した
荒砥沢地区の施工状況



東日本大震災で被災した
海岸防災林の植栽状況

岩手・宮城内陸地震の被害が大きかった栗原市荒砥沢地区では、治山工事による復旧整備を進めています。

森林教室の実施時に、被災状況や地滑りの仕組みなどを説明し、復興に向けた治山工事の成果など、自然災害の脅威と地域を守る大切さを伝えました。



内陸地震の被災状況について説明

○ 生物多様性の保全

希少野生動植物種の生息環境の保全を図ることは重要なことです。国有林を生息環境とする希少野生動植物種を対象に定期的かつ継続的に巡視を行うことによって、対象個体の生息状況を把握し、より良い生息環境の保全に取り組んでいます。



森林保護管理員による巡視



確認されたクマタカの個体

南三陸町及びその周辺の国有林には、希少野生動物種であるイヌワシ等の猛禽類が生息しており、保護管理事業の一環として委託により巡視を行っています。

また、イヌワシ等の狩場を確保するための森林の整備を行っています。

(2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

○ 低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及

路網と高性能林業機械とを組み合わせ合わせた作業システムによる間伐やコンテナ苗を活用した、伐採から造林までを一体的に行う「一貫作業システム」など、低コストで効率的な作業システムの実証を推進しました。

また、これらの取組について、各地での事業展開を図りつつ、現地勉強会の開催等により民有林における普及・定着に努めました。



●一貫作業システム勉強会(登米市)

伐採から植付まで一貫して行う作業システムの普及に取り組んでいます。また、植付にはコンテナ苗を使用し、作業の効率化を図っています。



●林業専用道の作設

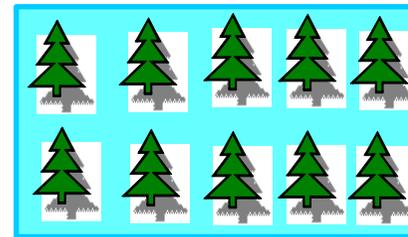
木材の搬出や運材を効率的に行うため、林業専用道を開設し林内の路網密度を高めています。

間伐、主伐、そして再造林を確実に行うためには、伐採や造林にかかるコストの縮減が大きな課題であることから、低コスト化へ向けた取組みを推進するため、平成28年度及び平成29年度に県、市町、関係機関、林業事業者等を対象にした一貫作業システムの現地勉強会を開催しました。

○ 林業の低コスト化等に向けた技術開発

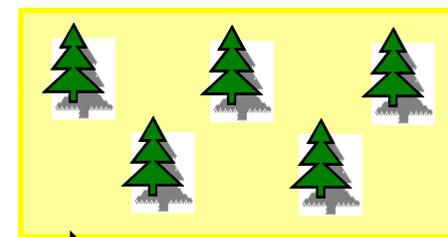
民有林への普及を念頭においた林業の低コスト化等に向けた技術開発に取り組みました。具体的には、国有林内に試験地を設け、一貫作業システム、コンテナ苗、低密度植栽の効果について実証することとしています。

●低密度植栽



3,000本/ha

植栽本数低減



1,500本/ha

※ 苗木の削減分だけ苗木代と植付けのコストが縮減される。



平成28年度に1ha当たり1500本の植栽本数区とコンテナ苗及びコンテナ苗の大苗の試験地を設定し、成長量等の調査と下刈りの省略化について取り組むこととしています。

(3) 国民の森林としての管理経営

○ 森林環境教育の推進

学校等と森林管理署等が協定を結び、様々な自然体験や自然学習を進める「遊々の森」の設定・活用など、森林環境教育に係るプログラムの整備や国有林野のフィールド提供等に積極的に取り組んでいます。



遊々の森「蜂倉きこりの森」の活動
(森のなかま)(大和町)



遊々の森「悠々の森」の植樹活動
(古川中央ライオンズクラブ)
(大崎市)

○ 森林の整備・保全等への国民参加

自ら森林づくりを行いたい、次代に引き継ぐべき木の文化を守りたいという国民の要望に応えるため、企業やボランティア団体等と森林管理署等が協定を結び、国有林野をフィールドとして森林づくり活動を進める「社会貢献の森」や「法人の森林」を設定するとともに、技術指導等の支援を行い、国民参加の森林づくりを進めています。



社会貢献の森「ホームマックの森」
植樹活動(石巻市)



法人の森林「ドコモ大和松倉の森」
森林整備活動(大和町)

「遊々の森」は、学校や団体等と森林管理署が協定を結び、森林環境教育の推進を目的としたさまざまな体験活動などのフィールドを提供する制度です。

管内では、4箇所の協定箇所があり、今後も国民参加の森林づくりを推進します。

また、毎年、地域の教育機関等からの要望による、継続的な森林環境教育の取り組みも行っています。

「社会貢献の森」は、企業やボランティア団体等と森林管理署が協定を結び、国有林野を森づくりのフィールドとして提供する制度です。

「法人の森林」は、企業等と森林管理署が協定を結び、社会貢献活動の一環として、長期間にわたって企業等の森林づくりを行っていただくため、分収造林制度及び分収育林制度を活用して国有林内で森林づくりをしていただく仕組みです。



2 次期計画の基本方針について

次期計画策定に向けての基本的な考え方

○ 林業の成長産業化という課題の中での国有林の役割の発揮

森林吸収源対策としての間伐及び主伐・再造林の推進、モザイク状に配置された森林への誘導等多様な森林整備の推進、森林施業の低コスト化、計画的な木材供給に取り組みます。

また、森林総合監理士等による民有林への実践的な技術普及等に取り組みます。



列状間伐



高性能林業機械による
全木集材



製品生産事業現地検討会
(登米市)



森林共同施業団地運営協議会
(加美町)

育成単層林(人工林)では、従来の単一樹種の人工林として育成するだけでなく、針葉樹と広葉樹の混交林として仕立てることも指向します。

列状間伐は、

- ・選木が機械的で容易・伐倒でかかり木になりにくい
- ・残存木への損傷が少ない
- ・全木集材が容易

なことから、引き続き列状間伐の実施率向上に取り組みます。

また、林業経営コストの削減に取り組むため、国有林が率先してコンテナ苗を活用した一貫作業システムを用いた効率的な作業システムを推進します。

木材生産の安定的・計画的事業の運営が図られるよう、採材及び森林作業道作設の技術向上に向け、県、関係団体、林業事業者と連携し、国有林の素材生産現場において現地検討会を開催しています。

加美町の森林共同施業団地では、民有林と協調した森林整備を推進するため、共同施業団地の協定者が連携して、合理的な路網整備および効率的な森林施業の実施に取り組みます。

次期計画策定に向けての基本的な考え方

○ 豊かな自然環境の保安全管理

管内では、優れた景観を有する貴重な天然林等が多数存在し、また希少野生動植物が数多く生息していることから、地域住民、ボランティア、NPO等とも連携を図りながら、その特性に応じた保安全管理に努めます。
また、管内の教育機関の要望に応え、継続的な森林環境教育に取り組みます。



栗駒山世界谷地湿原
保全活動(栗原市)



森林パトロール員講習会



石巻市立大原小学校
森林教室(石巻市)



大崎市森づくり推進事業
(自生山スギ希少個体群保護林)
(大崎市)

栗駒国定公園内に位置する世界谷地湿原は、高山植物が群生する高層湿原ですが、乾燥化が進んできたことから、貴重な植生を保全するため、宮城県や関係機関と連携し、ヨシの除草作業を行っています。

国有林をレクリエーション利用する方々のマナー向上や自然環境の保安全管理等のため、ボランティアによる森林パトロール員の委嘱を行い、巡視活動を行っています。

石巻市の大原小学校からの依頼により、地元森林事務所森林官および署職員を講師として派遣して、森林教室を実施しています。

また、大崎市からの依頼により、署職員を講師として派遣し、大崎市住民又は県外一般市民を対象として市内の鳴子温泉鬼首にある「自生山スギ希少個体群保護林」において宮城県内唯一のスギ天然林を案内しました。

次期計画策定に向けての基本的な考え方

○ 山地災害の復旧・防止の徹底

山地災害の復旧又はおそれのある箇所には、適切な治山事業を計画し、下流域の安心・安全に努めます。

● 栗原市栗駒地区(行者滝)



被災状況(H21年4月)

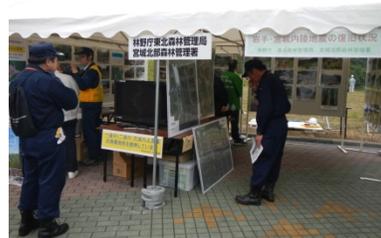


施工後(H28年5月)

岩手・宮城内陸地震の被害箇所については、早期復旧及び集中豪雨による山地災害に対する警戒をはじめ、地域住民の安心・安全の実現に向けて、引き続き最大限の努力をして参ります。

災害復旧事業の実施に当たっては、溪流生態系に配慮した工法を採用するなど、生物多様性の保全に配慮した対策を推進します。

また、地元栗原市の総合防災訓練や市民まつりに参加し、地域の防災意識を高める取り組みとして、パネル展示等により、震災当時の様子を解説し、地すべりの仕組みや復興に向けた治山工事の成果など自然災害の脅威と地域を守る大切さを伝えてまいります。



栗原市総合防災訓練

○ 海岸防災林等の再生

東日本大震災で甚大な被害を受けた海岸防災林について、植生基盤の造成を行う等の復旧整備を行っています。

● 東松島市浜市地区海岸防災林



被災後(H24年11月)



植栽状況(H28年5月)

東日本大震災により被害を受けた海岸防災林の復旧については、気仙沼市(被災延長3.9km)と石巻市、東松島市(被災延長6.5km)の海岸防災林において復旧整備を実施しています。

気仙沼市の海岸防災林の復旧は防潮堤を中心に、国有林直轄1.3km、特定民有林直轄2.6kmの復旧整備を進めています。現在のところ、国有林直轄で1.3km、特定民有林直轄で0.9kmに着手し、国有林直轄の0.2kmが完成しています。

石巻市、東松島市の海岸防災林は、生育基盤の造成及び植栽について、国有林直轄で復旧整備を計画し、これまでに5.2kmに着手。生育基盤の造成が完了した箇所から植栽を実施し、一部の植栽は「国民参加による森林づくり」制度を活用し、民間団体等と協定を結び、連携して海岸防災林を造成しています。

復旧整備にあたっては、地域住民の皆様や関係機関との調整を行うとともに、希少野生動植物が生息生育している区域もあることから、保全についても配慮しつつ実施しているところです。

● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

○ 病害虫及び鳥獣害対策の徹底

当地区では、松くい虫やナラ枯れ等の病害虫対策とニホンジカ被害対策について、日常の巡視強化による早期発見、被害予防に向け民有林と連携した取り組みを行います。



松くい虫により枯死したアカマツ



カシノナガキクイムシが侵入した
ミズナラ



懸念されるニホンジカによる
植生被害(金華山)



ニホンジカによる食害を受けた
スギ苗木



松くい虫予防のための薬剤注入



薬剤処理したミズナラ被害木



斜め張り式防鹿柵



小型移動式囲いわな

松くい虫やナラ枯れについては、森林病虫害被害防止のため県や市町村等から情報を得ながら早期駆除を行います。

ニホンジカによる植栽木等の被害を防止するため、低コスト防鹿柵の設置や小型の移動式囲いわなを用いた捕獲駆除事業等を行い、被害対策技術の実証や普及に取り組みます。



国民の森林・国有林



東北森林管理局 宮城北部森林管理署

林 野 庁 東 北 森 林 管 理 局
宮 城 北 部 森 林 管 理 署